

2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月11日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
コード番号 8886 URL https://www.woodfriends.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 中島 崇 TEL 052-249-3504
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	18,143	△19.7	△1,308	—	△1,487	—	△1,650	—
2023年5月期第2四半期	22,588	1.9	256	△80.6	△63	—	△99	—

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 △1,624百万円 (—%) 2023年5月期第2四半期 △69百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	△1,132.25	—
2023年5月期第2四半期	△68.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第2四半期	29,129	5,738	17.8	3,553.26
2023年5月期	38,219	7,363	17.8	4,685.05

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 5,180百万円 2023年5月期 6,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,709	△20.7	△1,318	—	△1,735	—	△1,951	—	△1,338.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	1,480,000株	2023年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	21,917株	2023年5月期	21,917株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	1,458,083株	2023年5月期2Q	1,458,083株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自2023年6月1日至2023年11月30日）の概況は、以下のとおりであります。

愛知県の戸建住宅市場は、資材価格の上昇に伴う住宅への価格転嫁、物価上昇による実質賃金の低下等により消費者の購買意欲が低調に推移する等、厳しい市場環境となりました。同市場においては、需給のバランスが崩れたことにより、供給過剰な状況で推移しました。

住宅事業では、これまで戸建分譲住宅のシェア拡大を目指し用地取得を促進してきましたが、一部において、商品化に時間及びコスト等を要する用地を取得したことに加え、市場の需要を的確に捉えた住宅商品の供給ができなかったことにより販売期間が長期化し、当期は販売用在庫が基準量を大きく上回る状況でスタートしました。

このような状況下、棚卸資産の圧縮を進めるため用地仕入、部材生産及び住宅着工の制限を行ったことに加え、販売期間が長期化した在庫の販売価格を見直す等、戸建分譲住宅の販売に注力したことで一定量の棚卸資産の削減を進めました。

その一方で、生産活動の制限による稼働率の低下や、資材価格の上昇を販売価格に転嫁しきれなかったことにより、住宅建築コストは高い水準で推移しました。さらに、販売期間が長期化した在庫の販売価格引き下げにより、住宅事業の収益性は著しく悪化しました。

棚卸資産の圧縮は進みましたが、引き続き一部の販売用在庫について、下半期においても現価格での販売が難しい状況が続くと見込まれるため、棚卸資産評価損を計上して簿価を見直すこととしました。

財務状態改善に向けた取り組みの中、これからの住宅商品の収益性を回復すべく商品改善及びコスト削減へ着手、当該商品は下半期の後半に供給できる見込みです。

住宅事業以外の状況としては、余暇事業ではゴルフ場運営による収益が堅調に推移したことに加え、「HOTEL WOOD高山」は来客数が前年同期比で増加、都市事業では収益不動産5棟の売却を実現しました。

当社グループでは厳しい経営環境の状況下においても、「木質カスケード事業」の実現に向け、長期的な視点で利益貢献及び環境貢献を目指した取り組みを行ってきました。具体的には、2024年6月営業開始に向けて製材工場（岐阜県美濃加茂市及び加茂郡八百津町）建設を進めるとともに、自社所有の森林資源を有効活用するための原木伐採を開始しました。建設資材の製造・販売を行う株式会社フォレストノートでは、外販比率を大幅に高めるために積極的な営業活動を行い、顧客基盤の拡大を図りました。また、住宅事業に接する事業である「非住宅木造」、「都市木造」等の建設事業を伸長させていく等、グループ各社が戸建住宅事業の業績に大きく左右されないよう、各社の事業を推し進めていく方針です。

2024年6月に実施予定であります持株会社体制への移行により、中長期的には各事業への投資について機動的に対応できる体制を構築したいと考えております。

<連結業績>

当社グループの主たる事業である住宅事業での著しい収益性の低下及び戸建住宅販売戸数が前年同期比で減少したことを主な要因として営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。

また、経営環境の著しい変化が生じたことにより、繰延税金資産の回収可能性について検討を行い、その一部につき取崩しを行いました。

	売上高	営業損失 (△)	経常損失 (△)	親会社株主に 帰属する四半期 純損失 (△)
当期実績	18,143百万円	△1,308百万円	△1,487百万円	△1,650百万円
前年同期比	19.7%減	—	—	—

(注) 営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

<販売実績>

	戸建住宅	集合住宅	合計
当期実績	384戸	(5棟) 88戸	472戸
前年同期比	27.1%減	528.6%増	12.8%減

<セグメント実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売

	売上高	セグメント損失(△)	主な増減要因
当期実績	15,733百万円	△1,378百万円	販売戸数の減少及び収益性の著しい悪化によりセグメント損失を計上
前年同期比	23.7%減	—	

(注) セグメント損失であるため、前年同期比は記載しておりません。

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	主な増減要因
当期実績	1,400百万円	336百万円	ゴルフ場運営及びホテル運営等が堅調に推移し売上高及びセグメント利益が増加
前年同期比	9.4%増	16.0%増	

c 都市事業

収益不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	主な増減要因
当期実績	1,043百万円	81百万円	収益不動産(集合住宅5棟)の販売により売上高及びセグメント利益が増加
前年同期比	35.5%増	215.8%増	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

a 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、棚卸資産の販売による減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し9,089百万円減少し、29,129百万円となりました。

b 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、棚卸資産の販売に伴う借入金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し7,465百万円減少し、23,390百万円となりました。

c 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末と比較し1,624百万円減少し、5,738百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは棚卸資産の減少10,278百万円(前年同期は4,356百万円の増加)を主な要因として、8,510百万円の収入(前年同期は4,868百万円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、製材工場の建設に伴う有形固定資産の取得等により、1,490百万円の支出(前年同期比163.1%増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の売却に伴う借入金の減少により、6,592百万円の支出(前年同期は5,256百万円の収入)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は427百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は3,680百万円(前年同期比18.3%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月14日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2024年1月11日)公表いたしました「2024年5月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,261,419	3,694,816
完成工事未収入金	36,830	7,821
売掛金	260,032	485,018
販売用不動産	17,070,441	8,962,529
仕掛販売用不動産	7,076,676	5,588,249
商品及び製品	807,844	475,967
未成工事支出金	1,636,788	1,084,172
仕掛品	323,172	325,195
原材料	384,356	584,762
その他	749,800	272,680
貸倒引当金	△8,484	—
流動資産合計	31,598,873	21,481,214
固定資産		
有形固定資産	5,813,439	6,794,631
無形固定資産	176,108	343,785
投資その他の資産	631,073	510,017
固定資産合計	6,620,621	7,648,433
資産合計	38,219,495	29,129,648
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,845,199	772,882
買掛金	448,450	605,968
1年内償還予定の社債	507,400	411,400
短期借入金	17,626,793	10,770,730
1年内返済予定の長期借入金	1,441,603	1,549,944
匿名組合預り金	222,580	121,000
未払法人税等	61,521	49,480
賞与引当金	90,316	5,359
完成工事補償引当金	119,463	105,171
その他	794,444	1,178,156
流動負債合計	23,157,774	15,570,093
固定負債		
社債	1,368,200	1,165,500
長期借入金	4,699,338	5,164,306
退職給付に係る負債	3,861	5,828
役員退職慰労引当金	180,492	155,006
その他	1,446,661	1,330,036
固定負債合計	7,698,554	7,820,677
負債合計	30,856,328	23,390,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	6,307,569	4,656,649
自己株式	△42,195	△42,195
株主資本合計	6,829,455	5,178,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,733	2,416
その他の包括利益累計額合計	1,733	2,416
非支配株主持分	531,977	557,924
純資産合計	7,363,166	5,738,876
負債純資産合計	38,219,495	29,129,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	22,588,067	18,143,718
売上原価	20,182,764	17,662,328
売上総利益	2,405,303	481,389
販売費及び一般管理費	2,148,784	1,790,097
営業利益又は営業損失(△)	256,519	△1,308,708
営業外収益		
受取利息	779	816
受取手数料	6,334	5,418
受取保険金	1,716	23,416
違約金収入	11,490	11,179
助成金収入	695	—
その他	13,459	23,166
営業外収益合計	34,475	63,997
営業外費用		
支払利息	178,117	188,784
資金調達費用	150,408	7,783
その他	26,005	45,945
営業外費用合計	354,531	242,513
経常損失(△)	△63,537	△1,487,224
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除却損	688	7,089
特別損失合計	688	7,089
税金等調整前四半期純損失(△)	△64,216	△1,494,314
法人税等	6,557	130,659
四半期純損失(△)	△70,774	△1,624,973
非支配株主に帰属する四半期純利益	29,107	25,946
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△99,881	△1,650,919

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	△70,774	△1,624,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,314	683
その他の包括利益合計	1,314	683
四半期包括利益	△69,460	△1,624,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,567	△1,650,236
非支配株主に係る四半期包括利益	29,107	25,946

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△64,216	△1,494,314
減価償却費	291,001	321,816
受取利息及び受取配当金	△949	△935
支払利息	178,117	188,784
売上債権の増減額 (△は増加)	107,220	△195,976
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,356,191	10,278,397
仕入債務の増減額 (△は減少)	△596,029	△965,398
その他	19,550	611,371
小計	△4,421,496	8,743,746
利息及び配当金の受取額	949	935
補助金の受取額	2,340	—
助成金の受取額	695	—
利息の支払額	△178,347	△184,874
法人税等の支払額	△272,245	△49,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,868,105	8,510,321
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△485,539	△1,312,785
無形固定資産の取得による支出	△57,052	△182,104
その他	△23,847	4,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	△566,438	△1,490,055
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	16,564,171	7,269,485
短期借入金の返済による支出	△10,788,836	△14,125,548
長期借入れによる収入	625,000	1,390,000
長期借入金の返済による支出	△666,528	△816,691
社債の償還による支出	△238,700	△298,700
リース債務の返済による支出	△4,529	△4,575
配当金の支払額	△234,547	△1
その他	—	△6,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,256,030	△6,592,873
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△178,514	427,392
現金及び現金同等物の期首残高	4,684,294	3,253,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,505,780	3,680,908

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実行税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	20,558,510	1,279,655	741,485	22,579,650	8,417	22,588,067	—	22,588,067
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	50,400	132	28,518	79,050	—	79,050	△79,050	—
計	20,608,910	1,279,787	770,003	22,658,701	8,417	22,667,118	△79,050	22,588,067
セグメント利益	330,969	290,418	25,736	647,124	4,874	651,999	△395,480	256,519

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△395,480千円には、セグメント間取引消去7,077千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△402,558千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	住宅事業	余暇事業	都市事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	15,729,295	1,400,345	1,013,471	18,143,112	605	18,143,718	—	18,143,718
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,750	—	29,902	33,652	—	33,652	△33,652	—
計	15,733,045	1,400,345	1,043,374	18,176,765	605	18,177,371	△33,652	18,143,718
セグメント利益 又は損失(△)	△1,378,520	336,778	81,270	△960,472	0	△960,471	△348,236	△1,308,708

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△348,236千円には、セグメント間取引消去△4,464千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△343,771千円が含まれています。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。